

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名	株式会社エコノス	上場取引所	札
コード番号	3136	URL	http://www.eco-nos.com/
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)長谷川 勝也	
問合せ先責任者	(役職名)取締役副社長	(氏名)新行内 宏之	(TEL)011-875-1996
四半期報告書提出予定日	2019年11月14日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,915	2.1	△63	—	△88	—	△116	—
2019年3月期第2四半期	1,875	△0.7	22	—	△0	—	△23	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △112百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △23百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△132.13	—
2019年3月期第2四半期	△27.70	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、2020年3月期第2四半期及び2019年3月期第2四半期においては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,588	184	7.1
2019年3月期	2,651	297	11.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 184百万円 2019年3月期 296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	3,900	△0.8	5	△95.2	△44	—	△78	—	△89.67	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) 、除外 1社(社名) 野空使保信息咨(上海)有限公司

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	879,498株	2019年3月期	879,098株
2020年3月期2Q	289株	2019年3月期	289株
2020年3月期2Q	878,833株	2019年3月期2Q	865,555株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲の重要な変更)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の底堅い推移や雇用情勢の改善により、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、米国に端を発した貿易摩擦問題及び英国のEU離脱問題の長期化、地政学的リスクによる世界経済の減速懸念とそれに伴う株式市場・為替市場の不安定さなどにより、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。また、今年10月から施行される消費税増税の国内消費への影響度合いも不明瞭な状況であります。

当社グループにおきましては、リユース事業は、新規店舗を除く既存店舗の売上高が北海道胆振東部地震のあった前年同四半期並みにとどまったこと、並びに、粗利益率が若干低下した一方で、主にパート・アルバイト従業員の増員による人件費等の増加及び当第2四半期におけるエコタウン旭川西店の開店費用が発生したことにより、販売費及び一般管理費が大きく増加した結果、セグメント利益が大きく減少しました。ただし、リユース商品の買取については好調に推移し、前年実績を大きく上回りました。次に、低炭素事業につきましては、海外取引先への売上が好調であったことにより、前年同四半期と比較して売上高が増加し、かつ、人件費等の経費が減少したため、セグメント損失は前年同四半期に比べ改善いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高1,915,613千円（前年同四半期比2.1%増）、営業損失63,720千円（前年同四半期は営業利益22,738千円）、経常損失88,961千円（前年同四半期は経常損失961千円）、特別損失として賃貸借契約解約損4,800千円を計上したことによって、親会社株主に帰属する四半期純損失116,117千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失23,974千円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次の通りであります。

(リユース事業)

リユース事業におきましては、新規店舗を除く既存店舗の売上高が北海道胆振東部地震のあった前年同四半期並みにとどまったこと、並びに、粗利益率が若干低下した一方で、主にパート・アルバイト従業員の増員による人件費等の増加及び当第2四半期におけるエコタウン旭川西店の開店費用が発生したことにより、販売費及び一般管理費が大きく増加した結果、セグメント利益が大きく減少しました。ただし、リユース商品の買取については好調に推移し、前年実績を大きく上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高1,802,301千円（前年同四半期比1.7%増）、セグメント利益は100,698千円（前年同四半期比41.1%減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末現在におけるリユース事業の各業態別の店舗数は以下の通りであります。

(単位：店)

	ブックオフ 事業部	ハードオフ事業部				ハードオフ 事業部計	合計
		ハードオフ	オフハウス	ホビーオフ	ガレージ オフ		
店舗数	17	14	17	16	1	48	65

(注) ブックオフ事業部の店舗数にはインターネット販売の1店舗を含みます。

(低炭素事業)

低炭素事業におきましては、海外取引先への売上が好調であったことにより、前年同四半期と比較して売上高が増加し、かつ、人件費等の経費が減少したため、セグメント損失は前年同四半期に比べ改善いたしました。

P P S（特定規模電気事業者）等を中心として、カーボン・オフセットの需要は引き続き旺盛でありますので、当社グループとしましては、カーボン・オフセットの仕入を円滑に行うことにより、利益の確保に努めてまいります。

なお、カーボン・オフセット・プロバイダー事業につきましては、年度上期に受注して年度末に業務が完了する契約が多いという特徴があります。そのため、売上計上までに経費が先行して計上され、第3四半期連結累計

期間までは営業利益のマイナスが続く傾向があります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高95,508千円（前年同四半期比10.6%増）、セグメント損失は24,885千円（前年同四半期はセグメント損失26,919千円）となりました。

（その他）

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業とiCracked Storeの運営を通じてiPhoneの修理等のサービスを行うリペア事業を含んでおります。

リペア事業につきましては、当第2四半期においてiCracked Store吉祥寺を新規オープンし、開店費用を計上いたしました。

以上の結果、本セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は売上高17,803千円（前年同四半期比2.0%減）、セグメント損失は6,920千円（前年同四半期はセグメント利益512千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、1,365,616千円となり、前連結会計年度末と比べて135,570千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金の減少64,794千円及び売掛金の減少94,293千円によるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、1,222,425千円となり、前連結会計年度末と比べて72,035千円の増加となりました。これは、主に有形固定資産の増加50,618千円及び投資その他の資産の増加18,290千円によるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、942,212千円となり、前連結会計年度末と比べて113,992千円の減少となりました。これは、主に買掛金の減少69,845千円及び未払金の減少50,783千円によるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、1,461,525千円となり、前連結会計年度末と比べて163,411千円の増加となりました。これは、主に長期借入金の増加154,743千円及び繰延税金負債18,104千円によるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、184,304千円となり、前連結会計年度末と比べて112,954千円の減少となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失116,117千円の計上によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は446,379千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により減少した資金は142,678千円（前年同四半期は70,006千円の収入）となりました。これは、主に減価償却費の計上37,317千円、売上債権の減少94,293千円による資金の増加があったことと、税金等調整前四半期純損失の計上93,761千円、未払金の減少50,764千円、未払消費税等の減少15,175千円による資金の減少があったためです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は92,537千円（前年同四半期は3,536千円の支出）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出76,647千円、敷金の差入による支出14,496千円による資金の減少があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は170,597千円(前年同四半期は86,880千円の支出)となりました。これは、主に長期借入金の増加による収入330,000千円の資金の増加があったことと、長期借入金の返済による支出131,710千円、リース債務の返済による支出18,229千円による資金の減少があったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月14日付の「2019年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2019年11月1日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	511,173	446,379
売掛金	175,203	80,910
たな卸資産	757,910	771,553
前払費用	49,841	50,520
その他	7,057	16,253
流動資産合計	1,501,186	1,365,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	133,681	166,727
工具、器具及び備品(純額)	86,848	118,153
土地	115,483	115,483
リース資産(純額)	437,040	422,763
その他(純額)	2,631	3,175
有形固定資産合計	775,684	826,302
無形固定資産		
その他	1,727	4,854
無形固定資産合計	1,727	4,854
投資その他の資産		
投資有価証券	30,051	36,174
敷金	276,830	284,207
繰延税金資産	5,290	-
その他	60,806	70,886
投資その他の資産合計	372,978	391,268
固定資産合計	1,150,390	1,222,425
資産合計	2,651,576	2,588,042

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,438	6,592
短期借入金	450,000	450,000
1年内償還予定の社債	16,600	17,000
1年内返済予定の長期借入金	239,101	282,647
リース債務	35,842	36,187
未払金	99,087	48,304
未払費用	63,147	68,421
未払法人税等	23,315	11,119
未払消費税等	18,829	8,405
賞与引当金	-	1,515
ポイント引当金	3,677	3,912
その他	30,163	8,104
流動負債合計	1,056,204	942,212
固定負債		
社債	58,700	50,000
長期借入金	466,293	621,036
リース債務	586,780	573,087
長期末払金	51,813	47,860
長期前受収益	16	-
退職給付に係る負債	46,733	50,721
資産除去債務	87,475	100,415
繰延税金負債	-	18,104
その他	300	300
固定負債合計	1,298,113	1,461,525
負債合計	2,354,317	2,403,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,895	213,947
資本剰余金	162,222	162,214
利益剰余金	△82,180	△198,623
自己株式	△164	△164
株主資本合計	293,773	177,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,859	6,930
為替換算調整勘定	△575	-
その他の包括利益累計額合計	2,283	6,930
非支配株主持分	1,201	-
純資産合計	297,258	184,304
負債純資産合計	2,651,576	2,588,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	1,875,927	1,915,613
売上原価	620,116	672,849
売上総利益	1,255,811	1,242,764
販売費及び一般管理費	1,233,072	1,306,484
営業利益又は営業損失(△)	22,738	△63,720
営業外収益		
受取配当金	803	873
受取手数料	4,552	4,747
協賛金収入	870	870
その他	5,326	4,028
営業外収益合計	11,552	10,519
営業外費用		
支払利息	33,928	33,003
その他	1,324	2,757
営業外費用合計	35,253	35,760
経常損失(△)	△961	△88,961
特別損失		
賃貸借契約解約損	-	4,800
災害による損失	2,591	-
特別損失合計	2,591	4,800
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,553	△93,761
法人税、住民税及び事業税	4,893	2,044
法人税等調整額	15,527	21,462
法人税等合計	20,421	23,506
四半期純損失(△)	△23,974	△117,268
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△1,150
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,974	△116,117

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△23,974	△117,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	4,071
為替換算調整勘定	104	575
その他の包括利益合計	37	4,647
四半期包括利益	△23,937	△112,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,937	△111,470
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△1,150

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,553	△93,761
減価償却費	38,055	37,317
長期前払費用償却額	1,272	400
災害損失	2,591	-
賃貸借契約解約損	-	4,800
受取利息及び受取配当金	△817	△877
支払利息	33,928	33,003
売上債権の増減額(△は増加)	36,016	94,293
たな卸資産の増減額(△は増加)	△682	△13,696
仕入債務の増減額(△は減少)	15,307	△69,845
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,979	△15,175
未払金の増減額(△は減少)	△23,886	△50,764
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,707	1,515
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,934	234
前受金の増減額(△は減少)	△1,145	△23,575
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△38	3,987
その他の資産の増減額(△は増加)	11,805	△7,841
その他の負債の増減額(△は減少)	△641	923
小計	108,006	△99,062
利息及び配当金の受取額	1,096	875
利息の支払額	△32,992	△32,140
法人税等の支払額	△4,137	△12,351
災害損失の支払額	△1,966	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,006	△142,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,189	△76,647
無形固定資産の取得による支出	-	△3,400
敷金の差入による支出	△10,155	△14,496
敷金の回収による収入	35,197	2,319
投資有価証券の取得による支出	△130	△120
子会社株式の取得による支出	-	△109
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△259	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,536	△92,537
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	330,000
長期借入金の返済による支出	△114,042	△131,710
社債の償還による支出	△8,300	△8,300
リース債務の返済による支出	△17,106	△18,229
長期未払金の返済による支出	△1,283	△1,264
ストックオプションの行使による収入	3,947	102
自己株式の取得による支出	△95	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,880	170,597
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50	△175
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,459	△64,794
現金及び現金同等物の期首残高	429,316	511,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	408,856	446,379

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

当第2四半期連結会計期間において、当社の子会社である野空~~株式~~使~~用~~保~~信~~息~~咨~~詢(上海)有限公司の清算に伴い、
連結の範囲から除外いたしました。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,771,366	86,391	1,857,757	18,170	1,875,927	-	1,875,927
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,771,366	86,391	1,857,757	18,170	1,875,927	-	1,875,927
セグメント利益又は 損失(△)	171,050	△26,919	144,130	512	144,643	△121,904	22,738

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△121,904千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,802,301	95,508	1,897,809	17,803	1,915,613	-	1,915,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,802,301	95,508	1,897,809	17,803	1,915,613	-	1,915,613
セグメント利益又は 損失(△)	100,698	△24,885	75,812	△6,920	68,891	△132,611	△63,720

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△132,611千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。